

予算審査特別委員会

# 総括質疑

黒沼 俊幸 議員

「9月以降の食肉加工センター建設の推移は」

**問** 9月第3回定例会において食肉加工センターは協議を継続中の答えだったが、その後の協議回数と協議内容について聞く。

**答** 行政報告で述べていますが、第3回定例会以降、整備検討委員会が1回、専門部会が4回、下流域関係者との協議が2回、漁協団体との協議が4回開催している。  
整備検討委員会としての今後の進め方は、下流域関係者に対し排水方法、河川環境への影響についての方法を説明し、継続協議していく。

松下 哲也 議員

「東京ふるさと会の活性化を図るために町民の派遣を」

**問** ふるさと会は自主的な運営で開催されているが、参加者が増えるような方法が必要ではないか。



**答** 今年度は、郷土館の職員・地域おこし協力隊員・阿歴内で町の関わりで事業をしている方が参加したが、次年度に向けて、東京の役員会と情報交換をし一般参加者の応募について検討していく。

渡邊 定之 議員

「プレミアム商品券の購入のあり方について」

**問** プレミアム商品券を購入の約束が守られていなく苦情が出ているがどうか。

**答** 商工会としても公平性については意識しているようだが、苦情については伝えたい。

「タヌキもエキノコックスを持っているのか」

**問** 人家の庭にタヌキが出没している。エキノコックスの菌は持っているのか。タヌキに対しても対策を取ってほしい。

**答** タヌキもキツネ同様保菌している。

道にキツネ・タヌキを3検体提出している。まだ、住民からタヌキによる被害の報告はない。



平川 昌昭 議員

「除雪時の排雪場所は」

**問** へ広報しべちやの除雪だよりの中で排雪場所へ私有地のご協力について掲載されているが、積雪量が近年増えていることから、排雪場所が不足しているのか、今後の除雪体制に影響がないのか。

**答** 町指定の排雪場所は標茶市街二か所・磯分内市街・虹別市街と4箇所あるが市街地における排雪場所について除雪業者に協力してもらい何力所か確保しているが、公共用地の適地が少ないことから、使用条件についても協議させていただきお願いしている。

「社会教育委員の報酬は」

**問** 社会教育委員の会議運営の規定及び費用弁償については条例で明記されているが、今後報酬額について上げるべきではないかと思うが。

**答** へ特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の改定については国の制度が変わることから、この何年かで検討していく。

本多 耕平 議員

**「旧太田村との境界線は変化していないか」**

**問** 昭和30年太田村より分村合併した当時と境界線が移動していないか、また、道道14号線に設置してある厚岸町との境界看板の設置場所は現在地で正しいのか。

**答** 厚岸町との境界は昭和30年に航空写真で線引きされて以来変動がない。

**「送電線の環境整備を要請すべき」**

**問** 近年異常気象による事故での停電が多発している、日頃の対策として要請すべき。

①電力会社に送電線環境整備を要請する。

②道道・町道管理委託会社がパトロールする時、送電線のチェックも未然防止のため実施してもらうことも必要と考える。

①年に数回の意見交換会があるが、担当課が出席し停電防止策等について申し入れしている。

**答** ②パトロールは夏場だけが、送電線に係る点検をさらに検討させていく。

**問** 農家より寄贈された農機具は何点あるか、また、寄贈されてからの年月が経過しているが今後の計画はどのように考えているか。

**「寄贈された農機具の展示計画はあるか」**

**答** 寄贈された農機具は58点あるが、今後、JAを含めて関係機関から意見をいただき協議していく。



平成28年度 決算を認定

平成28年度決算審査特別委員会が平成29年10月18、19日に行われ、一般会計、特別会計、企業会計について審議し、審査の結果認定すべきものとなり、12月5日開催の第4回定例会で認定されました。

(円)

会計名	区分	決算額		差引残高
		歳入	歳出	
一般会計		118億1,356万4,388	116億5,641万7,985	1億5,714万6,403
特別会計	国保事業	12億6,425万1,045	12億3,458万2,212	2,966万8,833
	下水道事業	5億7,133万6,625	5億7,133万6,625	0
	介護保険(事業)	8億7,484万2,929	8億5,110万2,409	2,374万520
	介護保険(サービス)	5億812万852	5億807万762	5万90
	後期高齢者医療	1億6万2,942	9,958万5,764	47万7,178
	特別会計小計		33億1,861万4,393	32億6,467万7,772
総計(一般+特別)		151億3,217万8,781	149億2,109万5,757	2億1,108万3,024

企業会計・病院

(円)

総収益	総費用	当年度純利益
10億7,626万3,843	10億7,561万893	65万2,950

企業会計・上水道

(円)

収入合計	支出合計	当年度純利益
9,270万5,136	8,394万6,884	875万8,252

決算審査特別委員会

総括質疑

櫻井 一隆 議員

「第三セクターに関する貸付金について」

**問** 町が標茶町観光開発公社に貸付けた1,000万円は今も未納となり、財務規則に基づいて債権管理を行っているが、延納利息は発生するのか。また、第4次3カ年実施計画書の第4節(商工業)には、第三セクター運営等資金貸付事業として1,000万円の無利子貸付が記してある。この二つの異なった資金の整合性について説明を求める。

**答** 財務規則上は延納利息であるが、規則の中で利息は当分の間取らない手続きになっている。1,000万円の無利子は3月31日に失効した貸付条例並びに規則に基づく考えで、第三セクターの貸付金については条例及び規則に基づく貸付金です。

「バイオマス産業化支援事業について」

**問** 平成28年度標茶町歳入歳出にかかる主要な政策執行の実質報告書に、地域バイオマス産業化支援事業として81万円の決算執行があった。その内容と、バイオマス産業化都市構想に基づいての今後の取り組みについての考えを伺う。

**答** エコビレッジ推進協議会で調査検討を進め町内4地区で希望があり、先日、中オソツベツ、虹別地区で会議を持っている。慎重な検討が必要であるが本町が基幹産業酪農で進めていくうえで最優先の課題は、糞尿処理の適切処理であると理解している。

深見 迪 議員

**問** 厚生労働省が国保会計への「法定外繰入の解消」の方針を転換すると発表した。住民負担軽減のため徴収内容を変更することを検討するよう求めるがどうか。

**答** 指導、通知がまだ来ていないのでそれを見た段階で改めて考えていきたいと思うが、町としての姿勢は、今のところ変わりはない。

**問** 厚生労働省が訪問介護の「生活援助」の多数回利用を問題視する調査資料を公表したが、町は、必要な利用者に必要なサービスを提供する姿勢で今後も取り組むと考えるよいか。

**答** 単純に回数だけで述べられているということには不信感を持っている。サービスを削減するという考えはない。

渡邊 定之 議員

**問** 私道が長く除雪が困難なところへの除雪支援はできないか。検討はしたのか。

**答** 町の除雪は基本的には町道である。ただし福祉上で必要と判断された場合は住民課と相談して検討する。

**問** 地域の高齢者が健康づくり推進委員による様々な健康づくりに参加するための移動手段の確保が必要ではないか。

**答** アンケート調査をしたが、足の確保が欲しいとの回答も多くあった。路線バスの拡大は難しいが、地域におけるコミュニティバスは大きな課題と認識している。



本多 耕平 議員

「駆除鳥獣を有効利用すべき」

**問** 農林業に甚大な被害をもたらしている有害鳥獣は、猟友会の協力のもと平成28年度は鹿2,223頭・カラス872羽・キツネ25頭・熊6頭で、鹿についてはモデル事業が実施されている。事業結果はどの様になっているか、また、熊については焼却処分しているが有効利用すべきと考えるが。

**答** 道主体によりエゾシカのモデル事業が厚岸町と本町が実施しているが、猟友会の協力を得て33回出動し61頭の捕獲をしており、個体の処理をするべき現場に同行し成果を上げている。  
熊については焼却炉も新しい施設で焼却可能となるので、今後の活用については猟の許可自体に関わりがあると考えているので、道とも相談しよう。

「地域間交流事業の進捗状況を問う」

**問** 更なる町発展を願い本事業が進捗状況を伺う。  
**答** ①現在開設している地域・施設数。  
②平成28年度の利用状況。  
③開設場所については十分考慮し、文化的施設をつくるべき。

**答** ①設置戸数は開発センター裏に1戸と上茶安別地区の旧上茶安別小中学校の教員住宅を活用したのが2戸である。  
②22件の利用があった。  
③お試しということでスタートし、現在3戸が適切だと判断しているが商工会青年部と十分協議している。

「大麻草撲滅作業のあり方を考えるべき」

**問** 町内に植生している大麻草撲滅作業を地域関係機関が一同に会し作業をしているが、作業のあり方を検討するべきと考えるが。

**答** 駆除について道の保健福祉部・保健所と協議し、駆除方法を検討しよう。

「育成牧場のさらなる充実のため次の点を問う」

**問** ①哺育事業の管理施設は十分であるか。  
②地中熱を利用した空調施設の効果は。  
③綿羊の供給頭数の減少要因と今後の課題は。  
④多和平観光のあり方を考えるとき、商工観光との連携をどのように進めるのか。

**答** ①哺育施設は現状では手狭になっているが、乾燥庫、農機具庫を改修しながら運営している。  
②地中熱に関して1牛舎当たり1,900万円の経費が掛かるが、初

期投資はその1/10以下であることから、明らかに効果がみられる。  
③前年度から雌の出産が多くなっているが、繁殖用に残してその分出荷頭数が減少している。季節繁殖であることから徐々に増えていくと考える。  
④公共牧場の役割として、観光、福祉の面から環境面を維持し役割を果たしていきたい。

